

第四部 第七類

第七十九回
帝國議會
貴族院

獸醫師法第二條ノ臨時特例ニ關スル法律案特別委員會會議事速記録第一號

(九)

付託議案

獸醫師法第二條ノ臨時特例ニ關スル法律案(政)

明治四十五年法律第二十一號中改正法律案(政)

委員氏名

委員長	侯爵四條 隆德君
副委員長	子爵植村 家治君
	子爵牧野 康照君
	宇佐美勝夫君
	男爵三須 精一君
	竹内 可吉君
	下出 民義君
	塩田 團平君
	佐々木長治君

昭和十七年一月二十三日(金曜日)午前十一時十五分開會

○委員長(侯爵四條隆德君)

ソレデハ獸醫師法第二條ノ臨時特例ニ關スル法律案特別委員會ヲ開會致シマス、チヨット御諮リ致シマスガ、付託議案ガ二件ゴザイマスノデ、兩案ノ政府當局ノ提出ノ理由ヲ只今大臣カラ御説明ヲ願ヒマシテ、然ル後ニ特ニ大臣ニ對スル兩案ニ付テノ御質疑ヲ願ヒ、ソレガ終了致シマシタラ、先ヅ獸醫師法ノ方ヲ先ニ政府委員ニ對スル御質疑ヲ願ヒ、次ニソレガ終了致シマシタラ、他方ノ案ニ付テノ御質疑ヲ願ヒ、兩案同時ニ其ノ後決ヲ採ルト云フヤウナ風デ差支ゴザイマセヌデセウカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(侯爵四條隆德君)

ソレデハ其ノ

ヤウニ致シマス、ソレデハ兩案ニ付テノ提出ノ理由ヲ御説明願ヒマス、農林大臣

○國務大臣(井野碩哉君) 先ヅ獸醫師法第二條ノ臨時特例ニ關スル法律案カラ御説明申上ゲマス、本法案ハ緊迫セル世界情勢ニ即應シマス爲ニ、昨年十月十六日附ヲ以テマシテ、大學、專門學校等ノ在學年限又ハ修業年限ノ臨時短縮ニ關スル勅令及文部省令ガ公布セラレマシテ、昭和十六年度ニ於キマシテハ三箇月、昭和十七年度以降ニ於キマシテハ六箇月、ソレノ其ノ卒業期ヲ繰上ゲテ、是ガ卒業者ヲシテ常時ヨリモ早ク國家ノ要務ニ從事セシムルコトト相成ツタノデアリマスガ、右ノ在學年限又ハ修業年限ノ臨時短縮ニ伴ヒマシテ、獸醫師法第一條第二項第一號ニ該當スル者即チ官立公立ノ專門學校又ハ文部大臣ガ之ト同等以上ト認メ指定シタル私立ノ專門學校ニ於テ獸醫學ヲ修メ之ヲ卒業シタル者ニシテ未成年者タル者ヲ相當數生ズルコトトナツタ次第デアリマス、而シテ同法第二條ノ規定ニ依リマスルト、農林大臣ハ未成年者ニ對シテハ獸醫師ノ免許ヲ爲スコトヲ得ザルコトニ規定セラレテ居リマスノデ、臨時的措置ト致シマシテ、當分ノ内農林大臣ハ右ノ規定ニ拘ラズ、是等未成年者ニ對シマシテモ獸醫師ノ免許ヲ與ヘ得ルコトトシ、人的資源ノ剩ス所ナキ活用ニ依リマシテ、戰時下畜產資源確保ノ萬全ヲ期セムトスルモノデアリマス、次ニ明治四十五年法律第二十一號中改正法律案ニ付キマシテ御説明申上ゲ

マス、明治四十四年日英米露ノ四國間ニ締結セラレマシタ臘肉獸保護條約ハ、北太平洋ニ於キマス臘肉獸ノ海上獵獲ヲ禁止致シマシテ、其ノ蕃殖保護ヲ圖ルト共ニ、他方四國ノ領有島嶼ニ來集致シマス臘肉獸ノ一定數ヲ獵獲致シマシテ、其ノ獵獲獸皮ヲ相互ニ分配シ、以テ實利ノ調和ヲ期シマスル趣旨ノ下ニ締結セラレマシタモノデアリマスガ、本條約實施後ノ臘肉獸ノ蕃殖狀況ヲ見マスルニ、條約實施當初ハ約十四萬頭デアリマシタモノガ、大正十五年ニハ約八十三萬頭ニナリ、昭和十五年ニハ約二百二十萬頭ニ増加シタノデアリマス、此ノ爲ニ冬春二季ニ我が近海ニ洄游致シマス臘肉獸ノ數ガ激増致シマシテ、直接間接我ガ漁業ニ及ボシマスル損害ガ尠カラザルニ至リマシタノデ、斯カル漁業被害ノ點ヲ全然考慮ノ外ニ置イテ居リマス本條約ノ存續ハ、漁業ヲ主要産業ト致シマス帝國ニ取リマシテハ、却テ不利益ヲ齎スニ至リマシタノデ、昭和十五年十月二十三日關係各國ニ對シ、本條約第十六條ノ規定ニ基キマシテ、本條約廢棄ノ通告ヲ致シマスト共ニ、北太平洋ニ於キマス臘肉獸ヲ合理的基礎ノ上ニ置キマシテ、保存又ハ保護スル趣旨ノ帝國政府ノ新協定ノ原則ヲ提示致シタノデアリマスルガ、昨年十月二十二日ヲ以テ廢棄通告ノ豫告期間ハ滿了シ、新協定ハ締結セラレ、ニ至リマセヌデシタ爲ニ、茲ニ本案ニ依リマシテ、本條約ノ規定ニ基キ明治四十五年法律第二十一號ニ依リ、臘虎及

臘肉獸ノ海上獵獲ヲ禁止シ、又其ノ陸上獵獲モ政府ニ專屬セシメテ居リマシタモノヲ改メ、今後ニ於キマシテハ、政府ガ必要ニ應ジ、之ガ禁止又ハ制限ノ措置ヲ執リ得ルコトト致シマシテ、海洋獸皮資源ノ統制アル利用ヲ圖ルヤウ措置シテ參ルコトニ致シタ次第デアリマス、以上二件ニ付キマシテ、何卒御審議ノ上、速カニ御可決アラムコトヲ希望致シマス

○委員長(侯爵四條隆德君) 特ニ大臣ニ對スル御質問ガアリマシタラ、此ノ際御質問願ヒマス

○男爵三須精一君 此ノ獸醫師法ノ臨時特例ニ關スル法律案ニ付キマシテ、此ノ度提案サレマシタ此ノ特例事項ト云フモノハ、結局未成年者ニ資格ヲ與ヘテ、直グ役立ツヤウニスルト云フノデアリマスガ、此ノ短縮ニ依リ相當數ト言ヒマスガ、此ノ相當數ト云フノハ、大體ドレ位ノ御見込ニナツテ居リマスカ、且當局トシマシテ、現時ノ場合獸醫師ガ非常ニ不足ヲ告ゲテ居ル結果斯ウナルノデゴザイマセウガ、將來ニ付テハ獸醫師ノ養成ニ關シテノ御考ガアレバ、承リタイト思ヒマス

○國務大臣(井野碩哉君) 大體ノ數ヲ申上ゲマシテ、後ハ政府委員カラ御説明申上ゲマス、卒業期ノ繰上ニ伴ヒマシテ、成年ニ達シナイデ卒業シマス者ノ數ハ、昭和十六年十二月卒業致シマス者ガ、六百九十七名ノ中、未成年者五十九名、昭和十七年九月卒業シマス者ハ、卒業者ガ八百五十名デア

リマスガ、其ノ中未成年者ガ約百六十一名
ゴザイマス、其ノ他詳シイコトハ、政府委員
カラ説明致サセマス

○委員長(侯爵四條隆德君) 大臣ニ對スル
御質問ガ其ノ他アリデセウカ……若シゴ
ザイマセスレバ、以後政府委員ニ説明ヲ
御願ヒスルヤウニ致シマス

○男爵三須精一君 第二段ノ將來ニ付テ
ノ、獸醫師ト云フモノニ付テ政府ハ現狀デ
ハ不足ヲ告ゲテ居ルカラ、更ニ養成機關ニ
付テ何カ御考ガアリマスカ

○國務大臣(井野碩哉君) 將來ニ對シマス
ル獸醫師ノ養成施設トシマシテハ、本年九
月卒業ノ分カラ新ニ岐阜高等農林學校カラ
約四十名ノ卒業生ヲ生ズルコトニナッテ居
リマスシ、更ニ明年九月カラ北海道ニ於キ
マス帶廣高等獸醫學校カラ、約百二十名ノ
卒業生ヲ出ス見込アリマシテ、本年九月
ノ卒業生ハ約八百五十名、明年九月以降ハ
約千三十名ノ卒業生ヲ出ス見込ニナッテ居
リマス、又獸醫手ニ對シマスル養成施設狀
況ト致シマシテハ、昭和十五年法律第九十
二號ニ依リマシテ、獸醫手ノ養成施設トシ
テ、道府縣立農學校ノ獸醫科ヲ新設致シ
マシタモノガ十七校デゴザイマシテ、本年
九月カラ約七百名ノ卒業生ヲ出ス見込ニ
ナッテ居リマス、此ノ結果獸醫師及獸醫手ノ
需要供給關係ガドウナッテ居ルカト申シマ
スト、昭和十七年ニ於キマシテハ、内地ノ
需要數ハ約二千名デアリマシテ、供給數ハ
大學專門學校卒業生及試験合格者ヲ合セマ
シテ、約一千名デゴザイマシテ、尙一千名
ノ不足ヲ生ズルコトナッテ居リマスルガ、
明年カラハ專門學校ノ只今申上ゲマシタ増
加及定員數ノ増加ニ依リマシテ、卒業生數

ガ約三百名ヲ増シマスシ、更ニ昭和十五年
法律第九十二號ニ依リ、獸醫手ノ資格ヲ有
スル者ガ七百名乃至八百名程卒業スル見込
デアリマスノデ、内地ダケデ考ヘマスル場
合ニハ、大體ニ於テ過不足ノナイ見込デゴ
ザイマス

○委員長(侯爵四條隆德君) 獸醫師法ノ
臨時特例ニ關スル法律案ニ付テノ御質問ハ、
其ノ外ニゴザイマセスデセウカ……ゴザイ
マセスレバ、特ニ大臣ニ對スル御質疑ヲ
モウ一案ノ方ニ付テゴザイマスレバ、此ノ
際御願ヒ致シマス

○子爵植村家治君 臘肭獸獵獲取締法ハ明
治四十五年ニ創設サレタノデスカ、ソレヲ
チヨット伺ヒタイ

○國務大臣(井野碩哉君) 明治四十四年ニ
臘肭獸獵保護條約ガ制定セラレマシテ、ソレ
ニ基キマシテ、國內法トシテ、此ノ法律ガ
其ノ翌年ニ制定サレタノデアリマス

○子爵植村家治君 其ノ保護條約ニ依ル各
國ノ臘肭獸ノ獸肉、獸皮ノ利用用、ソレガ
ドノ位ノ比率ニナッテ居ッテ、各國ガ如何ニ
之ヲ有用ニ利用シテ居ッタカト云フコトヲ伺
ヒタイノデアリマス

○國務大臣(井野碩哉君) 明治四十四年カ
ラ昭和十六年迄、ズット各國ガ陸上ノ獵獲
ヲ致シテ居ッタノデアリマスルガ、日本ト
「アメリカ」ト露國ト、大體三國ガ獲ッテ居
リマシタ、是ハ細カイ數字ニナリマスガ、
ドウ致シマセウカ、何カ書イタモノデモ差
上ゲマセウカ、大體ノ數字ヲ申上ゲマス、
獸ノ數ハ明治四十四年ニハ日本ハ七千頭、
「アメリカ」ハ十二萬三千六百頭、露國ハ九
千四百頭、合計致シマシテ十四萬頭デアリ
マス、明治十六年ニハ日本ハ四萬頭、獲リ

マシタノハ違ヒマスガ、獸ノ數デアリマス、
獲リマシタノハ、日本ハ大正十年カラ獲リ
マシテ十六年デハ三千頭獲ッテ居リマス、ソ
レカラ「アメリカ」デハ昭和十六年ニハ九萬
五千頭獲ッテ居リマス、「ロシア」デハ唯昭
和六年ニ六百五十七頭ダケ獲リマシタダケ
デ後ハ獲ッテ居リマセス、サウ言ッテ狀況デ
アリマス

○子爵植村家治君 ソレデ各國ガ臘肭獸ノ
獸皮ノミニ非常ニ重キヲ置イテ居ルヤウニ
思フノデアリマスガ、此ノ條約ヲ作ラナク
チヤナラス程如何ニ國內デ之ヲ活用シテ居
ルカト云フ其ノ國々ノ獸皮經濟ノ利用ヲ伺
ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(井野碩哉君) 日本デハ餘リ獸
皮トシテハ多ク利用シテ居リマセスデシタ
ガ、「アメリカ」「ロシア」ニ於キマシテハ相
當ニ毛皮ト致シマシテ利用致シテ居リマ
ス、初メ確カニ二百萬頭位居タ臘肭獸ガド
ンドン獲リマシテ減ッテ來マシタノデ、「ア
メリカ」ガ主トシテ非常ニ慌テマシテ、日
本ト「ロシア」ト「イギリス」ヲ誘ヒマシテ此
ノ條約ガ出來タヤウナ次第デアリマス、
日本カラ見マスレバ臘肭獸ノ皮ト云フモノ
ハサウ從來ハ多ク價值ヲ認メテ居リマセス
デシタガ、唯其ノ當時ノ情勢カラ「アメリ
カ」ニ引摺ラレマシテ條約ニ入ッタヤウナ譯
デアリマス、デアリマスカラ日本トシテハ
寧ろ臘肭獸ガ殖エマスコトハ、先程申シ
マシタ通り魚ヲ非常ニ食ベマスノデ、寧ろ
迷惑デアル條約デアッタノデアリマス、從ッテ
「アメリカ」トシテハ、此ノ條約ガ出來マシタ
ガ爲ニ臘肭獸ノ獸皮ノ利用ガ相當ニゴザイマ
シタノデ非常ニ利益ヲシテ居ルト云フ狀態
デゴザイマシテ、今申上ゲマシタヤウナ數

ヲ大體「アメリカ」デハ國內ニ於テ利用シテ
居ルト云フ狀態デゴザイマス

○男爵三須精一君 明治四十五年法律第二
十一號申改正法律案ニ付キマシテ御尋ネシ
タイノデアリマスガ、此ノ法律ガ改正サレ
マシタ後、政府ハ統制アル臘肭獸ノ保護ニ
付キマシテ大體ドウ云フヤウニナル御考デ
アリマスカ、其ノ點ト、モウ一ツハ臘虎ト
云フモノガ茲ニ出テ居リマスガ、臘虎ハ日
本デハドノ邊ニ……大體季節的ニ同游シテ
來ルモノト思ヒマスガ、現在トシテドノ位
ノ數ニ上ボリ魚族ニ與ヘル被害ト云フモノ
モ相當多イト聞イテ居リマスガ、其ノ狀況
ニ付キマシテ御話ヲ願ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(井野碩哉君) 今回法律ヲ改正
致マシテ從來臘虎臘肭獸ニ付テハ獵獲ヲ禁
止シテ居リマシタノヲ改メマシテ許可制度
ニ致シタイト考ヘテ居リマス、然ラバドウ
云フ風ナ統制ヲ以テ其ノ許可ハ行クカト云
フ點ニナリマス、今迄十數年間禁ジテ居
リマシタノデ、最近ニガ解禁ニナルト云フ
ノデ非常ニ獵獲ヲ希望スル者ガ出來テ居リ
マス、是ハ無統制ニ許シマス、場所ガ中
部千島デゴザイマスシ、又海外トノ色々ノ
國際關係モゴザイマシテ、色々ウルサイ問
題モ生ジマスノデ、十分此ノ許可ニ付キマ
シテハ統制ヲ執ッテ參リタイ、從ッテ出來ル
ダケ現在水産企業ノ保護ニ付キマシテ所謂
新體制ト申シマス、統制アル國家ノ機關
ト目スベキ國策會社ノ設立ニ當ッテ居リマ
スノデ、出來ルダケサウ云ツテ系統機關ヲ
シテ之ニ當ラシメル、個々ノ者ニハ許サス
ト云フ方針デ參リタイト考ヘテ居リマス、
ソレカラ臘虎ノ洞游狀態竝ニ漁業ニ與ヘマ
ス影響等ニ付キマシテハ或ハ專門家カラ御

話申上ゲタ方ガ結構ト思ヒマスカラ、誰カ
一ツ……

○政府委員(平岡梓君) 今臘虎ノ洞游狀態
ニ付テ御尋ガゴザイマシタガ、此ノ臘虎ハ
千島トカ露領ノ「コマンドルスキー」ノ群島
ダトカ、或ハ「アリユーシヤン」群島、ソツ
ノ方面ニ居リマシテ、普通臘虎ハ臘納獸ノ
ヤウニ洞游致シマセヌデ、大體千島ナラ千
島ト云フ所デ棲息シテソコ終ルト云フノ
デアリマシテ、洞游ヲ致シマセヌ、岩礁ノ
上ダトカ、或ハ鬼若布ノ上デ分曉シテ育
テ、サウシテ又段々蕃殖シテ行クト云フコ
ト洞游ハ致シテ居リマセヌ

○委員長(侯爵四條隆德君) 大體特ニ大臣
ニ對スル御質問ハゴザイマセヌカ……ゴザ
イマセヌケレバ、次ニ詳細ニ互ル御質問ニ
付キマシテハ先ゾ獸醫師法第二條ノ臨時特
例ニ關スル法律案ニ付キマシテ御質問ヲ願
ヒマス

○子爵植村家治君 此ノ獸醫師法第二條ノ
臨時特例ニ關スル法律、此ノ臨時ト云フノ
ハ將來人的資源ガ餘ルヤウニナツタ時ニハ、
解クト云フ臨時的ノ見込ノミノ特例法律案
デセウカ

○政府委員(岸良一君) 此ノ法律ハ先程御
説明ノアリマシタヤウニ、過般勅令デ文部省
ノ專門學校等ノ卒業期ヲ繰上ゲタノデスガ、
ソレガ爲ニ未成年者デ卒業スル者ガ相當數
出來テ來ルト思ヒマス、其ノ者ハ獸醫師法
カラ云ヘバ獸醫師免許ガ出來ナイ、サウス
レバ獸醫師ノ業ガ出來ナイ、此ノ際獸醫師
ガ非常ニ足りナイ時ニ、サウ云フ者ヲ二月
ナリ三月ナリ唯遊バスト云フコトハ不利益
ダカラソレニ許サウ、又サウ云フ風ナ狀態
ニナツテ居リマス人間オラバ、許シマスレ

バ、幾ラデモ仕事ガ出來ル、又過去ニ於テ
モ中等學校ヲ卒業シタ者ニヤラシテ居ッ
コトガアリマスノデ、マア差支ヘナカラウ
ト云フ見解ノ下ニ此ノ勅令ノ續ク間此ノ法
律ヲ施行シテ第二條ニ拘ラズ未成年者ニ仕
事ヲヤラセルヤウニシタイ、斯ウ云フ者ヘ
デアリマスカラ、此ノ勅令ノ廢止ト共ニ止
マル譯デアリマス

○男爵三須精一君 獸醫師法ノナンデゴザ
イマスガ、今迄未成年ニ資格ヲ與ヘナカッ
タト云フノハ、學校ヲ出テ、未成年者ガゴ
ザイマシタデセウカ、ソレハ助手トシテ使
テ居ッタノデセウカ、ドウ云フ爲ニ今迄ハ未
成年ト云フモノニ資格ヲ與ヘナカッタト云
フ、其ノ理由ハ御分リデアリマセウカ

○政府委員(岸良一君) 大體現行ノ獸醫師
法ノ出來ル前迄ハ中等學校程度ノ學力ノ者
ニ獸醫師ノ仕事ヲ許シテ居ッタ、其ノ時分ノ
卒業生ト云フモノハ、是ハ皆未丁年者デ、
其ノ當時ハ日本ノ畜産狀態ハマダ今ノ「レベ
ル」ニ達シテ居ラナカッタ、サウ云フ譯デ之ヲ
ヤッテ居ッタ、處ガ此ノ法律ガ出來ル時ニ將
來ノコトヲ見透シマシテ、ドウシテモ獸醫
師ノ程度ヲ高メナケレバナラヌト云フノデ、
專門學校以上ニ致シタ、從テサウ云フ意
味ハ、未成年者ニ責任ヲ以テ仕事ヲヤラセ
ルト云フノハ無理ダト考ヘテ居ッタ譯デア
リマス、デサウ云フヤウナ譯デ、方針トシテ
ハサウ云フ風ニナツテ居リマシタケレドモ、
從來中等學校ヲ出タ者ニ付テ其ノ得テ居ル
所ノ獸醫師ノ仕事ヲスルト云フコトヲ剽奪
スル譯ニ行カナイノデ、ソレヲ續ケテ居ッ
タ、サウ云フノハ殘ッテ、今デモ仕事ヲシテ
居リマス、未成年者ガ相當澤山アリマス、
尙獸醫師法ノ特例トシテ十五年ニ御審議ヲ

願ッタ獸醫手ノ法律ガアリマス、是ハ結局現
在先程大臣カラ御話ガアリマシタ中等學校
程度デ以テ約十七校、之ニ獸醫學科ヲ作リ
マシテ、ソレノ卒業生ヲ獸醫手トシテ使フ、
獸醫手ハ獸醫師ノヤウニ獨立シテ營業スル
コトハ出來ナイ、是ハ市町村トカ、或ハ畜
産組合、サウ云フヤウナ團體ノ職員トシテ
サウシテ診療ニ從事スルコトガ出來ル、是
ハ未成年者モ居リマス、併シソレハ限ラレ
タ範圍デ、上ニ責任ヲ以テ仕事ヲチャント
監督スル者ガ居ルト云フ狀態ニ於テヤリ得
ルト云フ考ヘノ下ニ、之ヲ其ノ範圍ヲ限ッテ
ヤッテ居ッタ、其ノ團體ヲ離レタ時ニハ、獸
醫師トシテノ診療ニ從事スルコトハ出來ナ
イ、斯ウ云フヤウナ形ヲ執ッテ居ッタノデア
リマス、從ッテサウ云フ部類ニハ未成年者ガ
居リマス

唯一ノモノデアルト思ヒマス
○侯爵四條隆德君 更ニモウ一點伺ヒタイ
ノデアリマスガ、左様ナ國家試験ニ於キマシ
テ未成年者ガ特ニ免許ヲ得ル如ク認定サレ
ル場合ニ於キマシテハソレガ成年ニ、丁年
ニ達スル迄假免許ト云フヤウナ形式ヲ執ッテ、
成年ニ達シタ時ニ是ガ本格的ノ獸醫師免狀
デアルト云フ風ニ變化ヲスルト云フヤウナ
形式ヲ執リマスレバ未成年者デアルト云フ
モノノ社會ノ取扱、丁年ニ達シタモノノ取
扱ト云フモノハ自ツト區別ノ付クヤウニ考
ヘルノデアリマスガ、斯ウ云フ點ニ付テ如
何様ニ從來研究サレタモノデアリマセウカ、
其ノ點ヲチヨット……

○委員長(侯爵四條隆德君) 他ニ御質問ゴ
ザイマセヌカ
〔副委員長子爵植村家治君 委員長席ニ
著ク〕

○副委員長(子爵植村家治君) 四條侯爵
○侯爵四條隆德君 私チヨット御質問サシ
テ戴キマス、此ノ獸醫師法ニ依リマス獸醫
師ノ免許ト云フモノハ實際ニ國家試験ニ依ッ
テ免許ヲ交付サルベキモノト考ヘマスガ、
テ免許ヲ交付サルベキモノト考ヘマスガ、
斯ウ云フ程度ノ國家試験デ未成年者ガ免狀
ヲ得ルト云フヤウナ例ハ、獸醫師法以外ニ
他ニゴザイマスデセウカ、承リタイト思ヒ
マス

○政府委員(岸良一君) 此ノ關係ニ付テハ
一番密接ノ關係ノアルヤツハ醫者ノ方面デ
アリマス、醫者ノ方ハ修業年限ガ一年長イ
ノデアリマスカラ、之ニ觸レルモノハナイ
サウデアリマス、從ッテ獸醫師ガ恐ラク、

○委員長(侯爵四條隆德君) 他ニ御質問ゴ
ザイマセヌカ

○子爵植村家治君 此ノ獸醫師ガ老年ニ
ナツテ業ヲ續ケ得ル體力ヲ有ッテ居ル人モア
リマセウガ、大體獸醫師ト云フコトノ氣持
ハ、凡ソ幾ツ位ニナツタラ、モウコンナ商賣

ハ止メテシマハウト云フヤウナコトニナツテ、折角ノ人的資源ヲ自ラ捨テ居ルト云フヤウナ人多數アルダラウト思ヒマスガ、サウ云フ數ハ御承知ニナツテ居リマセウカ

○政府委員(岸良一君) 獸醫師ノ年限、年齢ト云フモノニ付キマシテハ別ニ制限ハナイノデゴザイマスガ、唯マア一方ニ於テ獸醫師ニ付テモ醫師ト同様ニ徵用ヲスル途ガアル譯デアリマス、ソレノ方デハ大體六十位ニナツテ居ル譯デアリマス、獸醫師トシテハ經驗ヲ積ンデ居リサヘスレバ一層宜イノデアリマスカラ年ヲ取ツテモ矢張仕事ヲシテ居リマス、現在ドノ位ノ數ガ御示ノヤウナモノニナルカト云フコトニ付キマシテハチヨット材料ガゴザイマセヌノデ御答申上ガ兼ネマスケレドモ大體サウ云フヤウナ狀態ニナツテ居リマス

○委員長(侯爵四條隆德君) 他ニ御質疑ゴザイマセヌカ……ゴザイマセヌケレバ、モウ一案ノ明治四十五年法律第二十一號中改正法律案ニ付キマシテ御質問願ヒマス

○子爵牧野康照君 臘虎臘獸臘獲ニ付キマシテハ特ニ許サレタモノガ臘獲スルモノトシマシテ、是ニハモウ其ノ臘獲ノ數量ニ制限ヲ加ヘルノデアリマセウカ、ソレトモ無制限ニ臘獲ヲ許サレルモノデアリマセウカ、チヨット……

○政府委員(平岡梓君) 御答致シマス、今ノ御尋ハマダハッキリ具體的ニ決マツテ居リマセヌケレドモ、無制限ニハ致サナイ積リデ、矢張り頭數ノ制限トカ、禁止區域ヲ設ケマシタリ、色々船ノ許可ノ問題、漁具ノ問題、色々ナモノニ條件ヲ附ケマシタリ致ス積リデゴザイマス、尙外ノ漁業トノ關係ガ色々ゴザイマスノデ、臘獸臘其ノモノニ取ツテ宜イニシタ處ガ、臘獸臘ヲ獲ラセマスト、ソコデ鮮鱒ガ邪魔サレテ獲ラレナイト云フコトガアリマスノデ、色々配合ヲ致シマシテ、能ク統制シテ參リタイト思ヒマス

○男爵三須精一君 臘獸臘ト云フモノハ今迄樺太廳デ處理シテ居ッタノデスガ、約三千頭ト云フヤウナ數ヲ獲ッテ居ッタト云フコトデス、樺太廳ニ於ケル收入ハドレ位ニナツテ居リマセウカ、ソレノ皮及肉、其ノ他精力劑ニ使ヒマセウガ、其ノ利用ニ依ル價格ハドレ位ニナルデアリマセウカ、尙撲殺或ハ銃殺スル場合ニ雌ハ何歳以上ハハイカストカ、色々サウ云フ規定モアルダラウト思ヒマスガ、其ノ點御分リデシタラ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(平岡梓君) 今ドノ位ノ是ニ收入ガアルカト云フ御尋デゴザイマスガ、昭和十五年十一月現在迄ノ臘獸臘ノ收入ヲ見マスト、農林省ノモノガ百萬圓近ク、樺太廳ノモノガ三十萬圓バカリノ收入ガアリマス、ソレカラ今ノ撲殺スルノハドノ位カト云フ御話デアリマスガ、ソイツハ大體雄ノ三歳位、雌ノ方ハ蕃殖ノ關係デ獲ラセマセヌデ、雄ノ三歳以上ノ齡ヲ取ツタモノヲ狙ッテヤツテ居リマス

○男爵三須精一君 今一ツ、大體平均トシテ一頭ノ價格ハドレ位ニナリマスカ、毛皮ハ割合高イラシイデスガ……

○政府委員(平岡梓君) ソレハ非常ニ値ガアリマスガ、海豹島ノ臘獸臘ノ皮ノ賣却値段ヲ昭和十二年十三年トズツ取ツテ居リマスガ、アレハ大キイ小サイニ依ッテ色々違ヒマスガ、本年ハ大キイノガ六十圓、小サイノガ三十七圓、昭和十六年ノヤツハ平均四十六圓四十二錢ニナツテ居リマス、昭和十

四年頃ハ一時相當高クナツテ居リマシタガ、少シ十六年ニハ下ツテ居リマス

○子爵植村家治君 サツキ農林大臣カラモ御話ニナツタノデアリマスガ、是ハ私ノ聽キ違ヒカモ分リマセヌガ、條約締結前ノ明治四十四年ニハ十四萬頭、ソレカラ最近ハ八十三萬頭、ソレカラ昭和十五年ガ二百二十萬頭ト承ツタノデスガ、此ノ最近ハ八十三萬頭ト云フノハ、是ハ何年頃迄ノコトデゴザイマスカ、ソレガ昭和十五年ニハ殖エ方ガ非常ニ多イヤウデスガ、最近ハ八十三萬頭ト云フ此ノ年數ハ何時デセウカ

○政府委員(平岡梓君) 八十萬頭ト云フ數字ハ大正十五年位ダト思ヒマス、大正十五年頃ガ約八十三萬頭ト云フ數字ヲ示シテ居リマス

○子爵植村家治君 サウスルト約十三年間位ニ八十三萬頭ガ二百二十萬頭ニナツタ譯デスカ

○政府委員(平岡梓君) 左様デゴザイマス臘虎ハ我々が必要トスル有用魚類ヲ食ッテ居ル譯デスガ、是ガ一部分カ分リマセヌガ、兎ニ角雌類ハ別トシテ雄類ガドノ位魚類ヲ荒シテ居ルカ、斯ウ云フコトハドウシテ分ルカ、或ハ從來漁場ニ魚類ガ澤山居ッタガ、臘獸臘ガ行ツタ爲ニ居ナクナツタトカト云フヤウナコトダケデアアルノカ、或ハ其ノ居ナイ所ヘ行ツテ不漁ガアツタト云フノデアアルカ、サウ云フヤウナコトハドウ云フ方法デ御調ニナルノデアリマス

○政府委員(平岡梓君) 今ノ御尋ハ、私ノ方トシテモ、ドノ位ノ數量的ニ荒サレテ居ル鮮鱒ガアルカト云フコトハ實ハハッキリ分ツテ居ナイノデアリマスケレドモ、兎ニ

角臘獸臘ガ鮮鱒ヲ喰ベテ居ル、臘虎ト違ッテ……臘虎ハ海岸トカ章魚トカラ喰ベマシテ、鮮鱒ヲ喰ベナイヤウデスガ、臘獸臘ハ明カニ鮮鱒ヲ食フ首ノ所ナド明カニ喰ベテ居リマスガ、ソレデ是ガ二百何十萬頭ト云フモノガソレヲ主タル餌トシテ喰ベテハ相當被害ガ多イダラウト思ヒマスガ、サウ云フ風ニ推定シテ居ルノデアリマス

○男爵三須精一君 臘虎ハ現在何頭位今御調デアル御見込ニナツテ居リマスカ、サウシテ其ノ臘虎ノ捕獲數字ハドレ位捕獲シテ居リマスカ

○政府委員(平岡梓君) 臘虎ハ日本ノ方デハ千島ノ得撫トカ占守トカデ大體二千五百頭見當二千五百頭カラ三千頭位居ルノヂヤナイカト思ヒマス、ソレデ其ノ昭和十二年カラ十四年平均デ大體八十五頭、マア百頭見當獲ッテ居リマス、ソレデ其ノ收入ハドウカト申シマス、大體十萬圓見當毎年臘虎ノ皮ノ生産收入ヲ得テ居リマス

○委員長(侯爵四條隆德君) 他ニ御質問ハゴザイマセヌカ……チヨット私カラ伺ヒタイノデスガ、漁業權ト臘虎又ハ臘獸臘ノ捕獲ノ權利ノ關係ハ如何デゴザイマセウカ

○政府委員(平岡梓君) 捕獲ノ權利……臘虎ヤ臘獸臘ノ捕獲ノ權利デゴザイマスカ

○委員長(侯爵四條隆德君) エ、

○政府委員(平岡梓君) 只今ハ禁止致シテ居リマスカラ、唯政府ガ直接海豹島ノ臘虎トカ臘獸臘ヲ獲ッテ居リマス、民間ニハ許シテ居リマセヌデ、權利ハ與ヘテゴザイマセヌ、併シ今度此ノ法律ガ若シ通リマスレバ、之ニ依ッテ臘虎ヤ臘獸臘ノ許可權ト云フモノガ出來テ來ルト思ヒマス

○委員長(侯爵四條隆德君) モウ一點伺ヒ

タイノデスガ、漁業ニ於テハ、例ヘバ鯨ノ漁業權アルトカ、近海ニ於ケル漁業權ハ其ノ權利ヲ持ツテ居ル者デナケレバ其ノ種ノ漁業ガ出来ヌ譯デアリマス、今度はガ通りマスレバ鯨虎又ハ鯨豚獸ノ漁業權ト云フ權利ヲ政府ガ許可スルコトニナル譯ダト考ヘルノデアリマス、ソレハ何人ガ願出テモ無論許可スル譯ニハ行カヌ、何トナレバ先程大臣ノ御説明ニ依ツテモ之ヲ統制的ニ行ツテ行クト云フ建前デアル、要スルニ全部獲ツテシマツテ根絶ヤシニシテモイカヌシ、或程度獲ラヌト漁業ニ影響スルト云フコトデアレバ、之ヲ「コントロール」スル爲ニハ、相當政府ガ指導監督シナケレバナラス、ソレニ付テ此ノ鯨虎、鯨豚獸ノ捕獲權ト云フモノヲ特定ノ漁業會社ニ許可スル方針デアアルノカ、或ハ特別ニサウ云フ一ツノ鯨虎、鯨豚獸專門ニ之ヲ捕獲スルモノヲ民間ニ作ラスカ、或ハ此ノ方面ニ非常ニ經驗ノアル者ガアレバ、サウ云フ者ニ於テ個人的ニモ出願スレバ捕獲權ヲ與ヘルト云フヤウナ、如何ナル方針デ之ヲ今後統制シ行カレルカト云フコトニ付テ、詳シク捕獲權ト云フ問題ニ付テ今後ノ對策ヲ御説明願ヒタイノデアリマス

○政府委員(平岡梓君) 今ノ御尋ハ先程大臣カラ御答申シマシタヤウニ、唯濫獲ニ委スト云フゴトハ、ドウシテモ出来マセヌノデ、御説ノ通り何カ統制的ニ計畫的ニヤラナケレバナライ、其ノ爲ニハドウ云フ風ニシテ統制的ニヤツテ行カト云フ御尋デアルカト存ジマスガ、今御話ノ中デ、大體個々、個人個人ニヤラスト云フコトデナク、或會社ノヤウナ組織タモノニ政府ノ嚴格ナ指導監督ノ下ニ、國策のナ會社ナリ、サウ云フモノヲ拵ヘマシテ、サウシテソレニヤラセルト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○委員長(侯爵四條隆德君) 尙モウ一點同ヒタイノデアリマス、特別ニ鯨虎、鯨豚獸ヲ獲ルト云フ捕獲會社ガ、會社ソレ自體トシテ成立ツカドウカト云フ問題ト、ソレカラ北洋ノ方ニ從來特定ノ漁業權ヲ持ツテ漁業ヲシテ居ル會社ニ、之ガ捕獲ヲ委託スルト云フ方ガ合理的デアアルカト云フコトニ付テ、如何様ニ御考ニナツテ居リマスカ、其ノ點ヲチョット伺ヒタイ

○政府委員(平岡梓君) 今ノ前者ノ問題ニ付キマシテハ、非常ニ鯨豚獸ノ價格モ下ツテ居リマスシ、ソレカラ輸出モ閉サレテ居ルヤウナ情勢デゴザイマスカラシテ、ナカ／＼此ノ會社ガ直グ儲カル會社デアルト云フ風ニハ考ヘテ居リマセヌ、相當政府トシテモ色々面倒ヲ見テヤラナケレバナラス、ソレナレバコソ、矢張り個々ニ許サナイデ、統制的ニ合併シタ會社ヲ設ケナケレバナライト考ヘテ居リマス、ソレカラ第二ノ北洋ノ會社ニヤラシタラドウカト云フ御尋ニ付キマシテハ、向フニハ北千島水産トカ色々北洋ノ方デヤツテ居ル會社ガアルノデアリマスガ、其ノ會社ハ近キ將來ニ於キマシテ水産諸會社ノ統合問題ト云フヤウナコトニ鑑ミマシテ色々機構ガ變ツテ參リマスノデ、私ノ方トシテハ現在デハ北洋ニ在ル會社ニ此ノ鯨豚獸ノ獵獲ヲ委ネヨウト云フコトハ考ヘテ居リマセヌ、矢張り專門ノ會社ヲ作ツテヤラシタイト云フ考デ居リマス、ソレカラ先程チョット言葉ガ足りマセヌデシタガ、此ノ法律ガ通レバ許可制度ニナルト云フコトヲ申シマシタガ、ソレハ許可權ガ標準ニナツテ許可スルト云フノデアリマシテ、普通ノ

定置漁業ナドノ許可ト違ヒマス、説明ガ不足デアリマシタカラ補足シテ置キマス

○委員長(侯爵四條隆德君) 他ニ御質問ゴザイマセヌカ

○子爵植村家治君 議事進行ニ付テ伺ヒタイト思フノデスガ、戰時下ノ議會デモアリマスシ、又此ノ委員會ニ提案サレタ法案モ簡單デモアルシ致シマスノデ、慎重ニ審議スル上ニ於テ相當寢カシテ置イテ、色々質問事項ヲ考出シテ來ヨウト思ヘバ幾ラデモ限リガナイト思ヒマスノデスガ、斯ウ云フ簡單ナ法案デアリマスレバ、徒ニ政府委員ニ御待チ願ツテ居ルヨリハ、マア政府委員ノ何ト申シマセウカ、御人柄ノ資源ヲ剩スヤウニシテ、他ニ有用ニ御利用願フ、政府委員トシテ御勤キラ願フト云フ意味ニ於テ、御意見ノアル時ニハドシ／＼仰シヤツテ戴イテ、サウシテ早く決ヲ御採リニナルヤウニ御進メニナツタラ如何カト思ヒマスノデス、ドウカ委員長ニ於テ宜シク御諮ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○委員長(侯爵四條隆德君) ソレデハ皆サニ御諮ヲ致シマスガ、ソレ／＼ノ會派トノ關係モゴザイマセウカラ、是ニテ御質疑ガナイト云フコトデアリマスレバ兩案ノ決ヲ採ルコトニ致シテハ如何カト思ヒマス、若シ御差支ノ方ガゴイマシタラ、無論明日ニシテモ宜シイ譯デスガ如何デセウカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(侯爵四條隆德君) ソレデハサウ云フコトニ致シマス、ソレデハ兩案ニ付キマシテ更ニ御質問ガアレバ質疑ヲ繼續シテ戴キタイト思ヒマス、御質問ゴザイマセヌカ……ゴザイマセヌケレバ兩案ニ付テ討論ニ入りマス、御發言ガゴザイマセヌカ……

別段御發言ゴザイマセヌケレバ此ノ兩案ヲ同時ニ決議スルコトニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(侯爵四條隆德君) 然ラバ此ノ兩案ニ付キマシテ、原案ヲ其ノ儘採用スルコトニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(侯爵四條隆德君) 本案ハ是ニテ可決致シマス、是デ委員會ヲ終了致シマス
午前十一時十一分散會
出席者左ノ如シ
委員長 侯爵四條 隆德君
副委員長 子爵植村 家治君
委員 子爵牧野 康熙君
男爵 宇佐美勝美君
三須 精一君
塩田 團平君

國務大臣 農務大臣 井野 碩哉君
農林大臣兼拓務大臣 岸 良一君
政府委員 農林省農政局長 平岡 梓君
農林省水產局長 竹内 德治君
拓務省殖產局長 井野 碩哉君

昭和十七年一月二十三日印刷

昭和十七年一月二十四日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局